
『悪魔の絵本』

烏と梟

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『悪魔の絵本』

【Nコード】

N4046V

【作者名】

烏と梟

【あらすじ】

私の身の回りで起こった出来事を、物語と現実

セットで書こうと思います

小さな王国

ここは王国

小さな王国

権力を振るうのは、
女王様。

「ああしなさい

こうしなさい」

口には決して出さないけれど、
みんなが彼女の言うことを聞く。
とても平和な、小さな王国

そこに現れた、
革命家気取りの
ひとりの女。

「ああしましょう

こうしましょう」

女は全て口に出すけど、
みんな彼女の
言うことは聞かない。

「どうして? どうして?」

女は泣きわめく。

「私の言うことを聞きなさい!」
女は言った。

「あの人の言うことを誰か聞いてやって。」
優しい優しい女王様。

口には出さずに言いました。

すぐさまみんなは女の言いなり。

女王のそばにいるのは、

女王の腹心と、

女王の道化師だけと
なりました。

すっかり女王気取りの

愚かな女。

調子に乗って、言いました。

「女王を倒しなさい！」

その言葉を聞いたその瞬間、
みんなは女を捨てました。

「どうして!?! どうして!?!」

みんなは決して答えない。

事情を知らない女王様。

「どうしてみんなは女を捨てたの?」

女王の道化師、静かに言った。

「女王様を殺そうとしたのです。」

「まあ! なんてことでしょう。」

女王様も女を見捨てた。

みんなに捨てられしばらくすると、
女は静かに王国を去った。

小さな王国（現実編）（前書き）

前回のリアル版です。

小さな王国（現実編）

私が小学生の頃です。

クラスにリーダーがいました。

彼女をAさんとします。

Aさんはひどくカリスマ性があり、

同じくカリスマ性のあるBさんといつも一緒にいました。

これが女王様と腹心です。

そして、くっついてるカリスマ性がないのが、

道化師こと私でした。

AさんとBさんは、「姉さん！」

と呼ばたくなるような義理と人情に溢れた人たちで、

女子はもちろん、男子も彼女たちの言うことをよく聞いていました。

そんなある日、転人生がやってきました。

どうやら彼女は前の学校でクラスのリーダーだったらしく、
私たちのクラスでも、リーダーになろうとしていました。

でも、もうAさんというリーダーが居たため、

彼女の言うことを誰も聞きません。

しかも彼女た前の学校でいじめをしていたらしく、
そのことを自慢げに語ってくる、痛い人でした。

もちろん、私にもそのことを語ってきて、

「その子は、転校しちゃったのよ！マジうける！」
と、とても下品に笑っていました。

そんなわけで、子分どころか友達すらいない転入生、
Aさんは、

「みんな転校生と仲良くしよう！」

そう呼びかけて、なんとか転校生にも、
何人かの友達ができました。

しかし彼女はその友達を子分のように扱い始め、
リーダーをきどり始めました。

ひとつのクラスにリーダーは二人いない

とかふざけたことを考えたのかどうなのか知りませんが、
彼女はある日Aさんのいないところでみんなに、

「Aさんを無視しよう。」

と、言いました。

そこからの展開はとても早くて、
まずみんなからやじが飛び、

「そんなことをするわけない。」

「私はあなたの家来じゃない。」

「馬鹿じゃない!？」

など、など、

ある人の「お前を無視するぞ」発言で、
転入生が無視することになりました。

AさんとBさんはそんなこと知らなくて、
転入生が無視されているのを見て、びっくりしていました。

それで、転入生の開いた会合に参加していた私に
事情を聞いてきたので、

「Aさんを見殺ししよう。って言って、みんなの怒りをかったんだよ。」

と、言いました。

Aさんはまたまたびっくりして、
Bさんはひどく怒っていました。

そんなわけで、転入生は、2ヶ月ほどしてから、近くの別な学校に
転校しました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4046v/>

『悪魔の絵本』

2011年10月9日10時24分発行